



## 課金 Keystone

NetApp  
January 08, 2026

# 目次

課金	1
Keystoneの価格設定	1
コミット済み容量に基づく請求	1
消費容量に基づく計測	2
バースト消費に基づく請求	2
Keystone請求のその他のシナリオ	2
クローニングされたボリュームに対する請求	2
一時ボリュームについての請求	3
SnapMirror デスティネーションについての請求	3
LUN の請求	3
システムボリュームとルートボリューム	3
請求スケジュール	3
月単位の課金	3
四半期ごと、半年ごと、および年ごとの請求	3

# 課金

## Keystoneの価格設定

NetApp Keystone STaaS の従量課金制サブスクリプション サービスは、ストレージ要件に合わせて予測可能な前払い価格設定により、柔軟でスケーラブルな消費を実現します。

Keystoneでは、次の請求機能を提供しています。

- さまざまなワークロードのニーズに合わせて、IOPS とレイテンシーのコミット容量に基づいて料金を支払うことができます。さまざまなパフォーマンス サービス ティア (Extreme、Premium、Standard、Value、Object、Cloud Volumes ONTAP)により、購入したパフォーマンス サービス レベルに基づいてストレージを管理できます。
- また、容量の利用状況に応じて、コミット済み容量と従量課金制の容量を予測可能で提示します。
- ハードウェア、コア OS、サポートのバンドル価格を 1TiB 価格で選択できます。ストレージ タイプ (統合、ブロック、最適化、オブジェクト、クラウド ストレージ サービス) ごとに 1 つの請求書が発行されます。
- サービス期間と支払いオプションは、月ごと、四半期ごと、半年ごと、年ごとなど、柔軟に選択できます。

Keystone請求は、コミット済み容量と可変バースト消費に基づいて行われます。

Keystoneでサポートされる各種容量については、を参照してください ["Keystoneでサポートされるストレージ容量"](#)。

- 関連情報 \*
- ["コミット済み容量に基づく請求"](#)
- ["消費容量に基づく計測"](#)
- ["バースト消費に基づく請求"](#)
- ["その他のボリュームタイプに基づく請求"](#)
- ["請求スケジュール"](#)

## コミット済み容量に基づく請求

コミットされた容量は、サブスクリプションの購入時に特定のパフォーマンス サービス レベルに対してコミットされた容量です。

コミットされた容量は、お客様と NetApp/パートナーが承認した、単一のサブスクリプション内のさまざまなパフォーマンス サービス レベルの合計容量になります。この容量は、Keystoneの注文ごとに記載され、実際の容量の消費量にかかわらず請求されます。

Keystoneでサポートされる各種容量については、を参照してください ["Keystoneでサポートされるストレージ容量"](#)。

## 消費容量に基づく計測

Keystone STaaSは、サービスの利用中に消費される容量に基づいて計測を行います。使用済み容量は、ワークロードが実際に使用している容量です。

Keystoneサービスの導入の一環として、ネットアップはサービスの利用状況を継続的に監視し、測定します。少なくとも5分に1回は、サブスクリプションで現在消費されている容量の詳細を示す消費レコードがシステムによって生成されます。これらのレコードは、請求書および使用状況レポートを生成するために請求期間にわたって集計されます。

Keystoneでサポートされる各種容量については、を参照してください ["Keystoneでサポートされるストレージ容量"](#)。

## バースト消費に基づく請求

Keystone STaaSの料金は、*Burst capacity*（サブスクリプションのコミット済み容量に加えて消費される容量）に基づいて計算されます。

バースト制限は、Keystone契約で決定および指定されます。デフォルトでは、コミット容量の20%超に設定されています。コミット容量の40%または60%のバースト容量制限を選択することもできます。詳細については、を参照して ["バースト容量増加オプション"](#)ください。

コミット済み容量は、サブスクリプションの購入時にコミットされる容量です。コミット容量とバースト容量は、パフォーマンス サービス レベルごとに測定されます。使用済み容量は、ワークロードが実際に使用している容量です。

消費された容量がパフォーマンス サービス レベルのコミットされた容量を超えると、バースト消費が記録され、それに応じて課金されます。バースト容量を超過した使用量は、「超過バースト制限」と表示されます。

このプロセスは、生成される消費レコードごとに実行されます。したがって、バースト消費量は、オーバー消費容量の量と時間の両方を、コミット済み容量の上に反映したものです。詳細については、を参照して ["Keystoneサブスクリプションの消費傾向を表示する"](#)ください。

Keystoneでサポートされる各種容量については、を参照してください ["Keystoneでサポートされるストレージ容量"](#)。

## Keystone請求のその他のシナリオ

特定の構成におけるKeystone の課金について理解すると、サービスの使用を最適化し、コストを管理するのに役立ちます。構成には、クローンボリューム、一時ボリューム、SnapMirror の宛先、LUN、システム/ルート ボリュームが含まれます。

### クローニングされたボリュームに対する請求

ONTAP でボリュームがクローニングされている場合に、データのバックアップとリストアに使用すると、追加の支払いなしでクローンを引き続き使用できます。ただし、ビジネスで他の目的に使用されていたクローンボリュームには、広範囲の期間料金がかかります。

次の点に注意してください。

- ・ クローンボリュームは、サイズが親ボリュームの10%（親ボリュームで使用されている物理容量に対するクローンボリュームで使用されている物理容量）未満であれば充電されません。
- ・ クローンボリュームには24時間の猶予期間はありません。クローンのサイズのみが考慮されます。
- ・ クローンボリュームが親の物理サイズの10%を超えると、クローンは標準ボリューム（使用済み論理容量）として課金されます。

## 一時ボリュームについての請求

ボリュームを移動する際に、ONTAPによって一時（TMP）ボリュームが作成されることがあります。これらの一時ボリュームは一時的なものであり、これらのボリュームの消費量は課金対象として測定されません。

## SnapMirror デスティネーションについての請求

SnapMirrorのデスティネーションボリュームの料金は、災害復旧用か長期保存用かを問わず、デスティネーションに割り当てられたパフォーマンスサービスレベルに基づいて決定されます。データ保護には追加料金はかかりません。

## LUN の請求

LUNの場合、課金はボリュームのパフォーマンスサービスレベルに基づいて行われます。

## システムボリュームとルートボリューム

システムボリュームとルートボリュームは、Keystoneサービスの全体的な監視の一環として監視されますが、カウントされたり課金されることはありません。これらのボリュームの消費は、請求から除外されます。

## 請求スケジュール

Keystone STaaSサブスクリプションは、月単位、四半期単位、半年単位、または年単位で請求されます。

### 月単位の課金

請求書は毎月送付されます。サービスが利用可能になった月については、請求書が翌月に送付されます。たとえば、1月に使用したサービスの請求書は、2月初めに送付されます。この請求書には、コミット済み容量の料金と、該当する場合はバースト時の使用料が含まれます。

### 四半期ごと、半年ごと、および年ごとの請求

四半期ごと、半年ごと、および年ごとの請求の場合、タイミングが若干異なるものの、プロセスは同様です。

- ・ 四半期ごとの請求：各サブスクリプション四半期の初めに、コミットされた容量の最低料金を記載した請求書が発行されます。また、バースト使用量が発生した場合は、四半期末に別の請求書が送信されます。
- ・ 半年ごとの請求：コミットされた容量の最低支払い額について、6か月ごとに請求書が生成されます。バースト使用量が発生した場合、各四半期末に別の請求書が送信されます。
- ・ 年次請求：コミットされた容量の最低支払い額について、各サブスクリプション年の開始時に請求書が生成されます。バースト使用量が発生した場合、各四半期末に別の請求書が送信されます。

四半期ごと、半年ごと、および年ごとの請求の場合、サブスクリプション中にコミットされた容量が変更されると、そのサブスクリプション年の残りの期間の日割り計算された最低支払額の請求書が同じ日に送信されます。請求は、コミットされた容量の変更が有効になる日から計算されます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。